

東北総体記録連絡票(様式D) ~全競技日程終了後~
平成23年8月28日(第2日目)

No.

※用紙サイズ:A4縦

競 技 名	バスケットボール	競 技
発 信 者 名	加藤光司	
運 絡 先		

1 第66回国民体育大会出場権獲得県一覧

種別(種目)	出場数	国民体育大会出場権獲得県
少年男子	1	福島県
少年女子	6	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
成年男子	1	山形県
成年女子	1	山形県

(県記録本部で記入)

受信係	点検係	総務・記録係	印刷・配布係
			

第38回東北総合体育大会バスケットボール競技組合せ

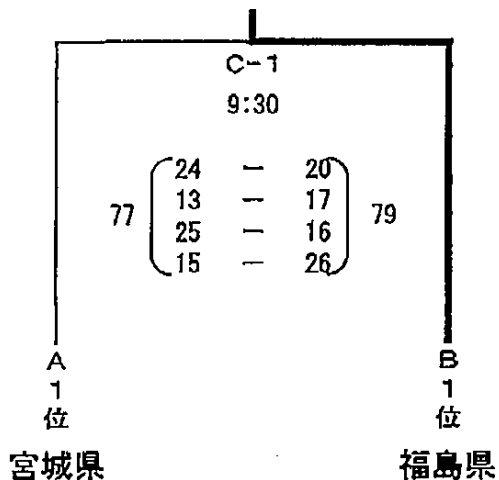
		少年男子	成年男子	成年女子
Aブロック	a	宮城	秋田	山形
	b	秋田	宮城	青森
	c	岩手	岩手	宮城
Bブロック	a'	福島	青森	秋田
	b'	山形	福島	福島
	c'	青森	山形	岩手

8月27日(土) ブロック別予選リーグ

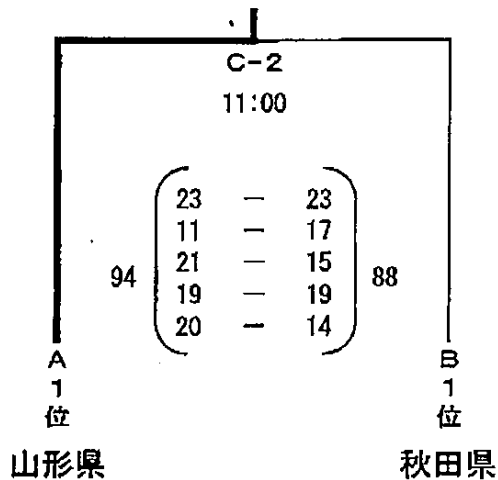
会場・コート		白石市文化体育活動センター					
		Bコート		Cコート		Dコート	
種別		少年男子		成年男子		成年女子	
1	9:00~	a-c 宮城 VS 岩手		a-c 秋田 VS 岩手		a-c 山形 VS 宮城	
		108 (33-16, 27-16, 26-25, 22-28)	85	75 (16-22, 18-20, 20-10, 21-29)	81	87 (25-12, 26-14, 22-8, 14-10)	44
2	10:30~	a'-c' 福島 VS 青森		a'-c' 青森 VS 山形		a'-c' 秋田 VS 岩手	
		97 (28-11, 24-19, 24-16, 21-18)	64	70 (18-26, 23-16, 15-24, 14-27)	93	97 (32-11, 22-11, 17-15, 26-20)	57
3	12:00~	c-b 岩手 VS 秋田		c-b 岩手 VS 宮城		c-b 宮城 VS 青森	
		89 (16-24, 17-19, 15-26, 41-35)	104	93 (22-12, 27-20, 12-18, 14-25, 18-9)	84	74 (18-12, 27-10, 8-25, 21-12)	59
4	13:30~	c'-b' 青森 VS 山形		c'-b' 山形 VS 福島		c'-b' 岩手 VS 福島	
		68 (12-16, 12-20, 18-13, 16-9, 10-14)	72	100 (28-15, 23-21, 27-16, 22-24)	76	70 (10-18, 10-17, 30-16, 20-18)	69
5	15:00~	b-a 秋田 VS 宮城		b-a 宮城 VS 秋田		b-a 青森 VS 山形	
		92 (27-19, 19-25, 17-19, 14-14, 15-20)	97	73 (22-15, 19-25, 17-24, 15-13)	77	47 (13-22, 10-37, 15-25, 9-29)	113
6	16:30~	b'-a' 山形 VS 福島		b'-a' 福島 VS 青森		b'-a' 福島 VS 秋田	
		58 (10-20, 13-18, 20-19, 15-27)	84	86 (24-20, 20-25, 25-9, 17-15)	69	41 (9-30, 9-24, 12-23, 11-14)	91

8月28日(日)決勝トーナメント

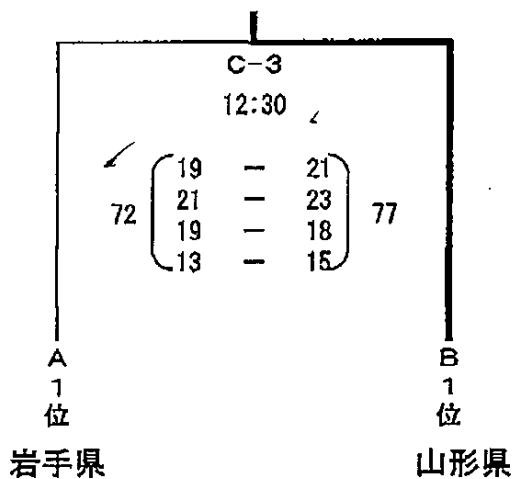
【少年男子】



【成年女子】



【成年男子】



種目 順位	成年男子	成年女子	少年男子
第1位	山形県	山形県	福島県
第2位	岩手県	秋田県	宮城県

【戦評】 成年男子決勝

平成 23 年 8 月 28 日 (日)	協会名: 宮城県バスケットボール協会	
場所: 白石市文化体育活動センター	記入者: 遠藤 匡 範	
チームA 岩 手 県 72 成年男子	(19-21 21-23 19-18 13-15)	チームB 山 形 県 77 成年男子

1P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。岩手は#4菊地のアウトサイドシュート、ファストブレイクで得点を重ねる。対する山形も、#11今野の2本の3ポイントなどで一時5点のリードを得るが、岩手#13澤口が1対1から連続して得点を決め、リードを許さない。中盤、山形は#12五十嵐から#5伊藤、岩手は#5目時から#7坂野、#8長谷川を中心に中外ともにボールがよく回るが、互いにシュートを決めきれず点数が伸びない。終盤、山形は#6小野が連続してシュートを決め先行するも、岩手も#13澤口、#9千葉が決め返し、21-19と山形が2点リードして第1ピリオドが終了した。

2P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。山形は#11今野の外からのシュートがよく決まり、ゲームを優位に進める。一方の岩手は、パスが良く回り、#8長谷川のインサイド、#4菊地のアウトサイドとバランスの良いオフェンスを展開するものの、代わって入った山形#10関野を中心とする速いオフェンスを止められず、苦しい展開が続く。終盤、岩手は山形のインサイドへのパスコースを封じるディフェンスで、山形を約3分間無得点に封じ、その間に#13澤口の3ポイント、#4菊地の2本のファストブレイクで、残り2分には40-40の同点に追い付くものの、残り1分を切ってから山形#10関野からのファストブレイク2本を決め返し、44-40と山形が4点リードして第2ピリオドが終了した。

3P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。山形は#6小野、#7齋藤の3ポイントなどコンスタントにシュートが入り、順調に得点が伸びる。一方の岩手も、#5目時のパスから#7坂野、#8長谷川らインサイド陣がシュートを決め、追隨する。中盤、リードを広げたい山形は、インサイドへの進入を許さない厳しいディフェンスを展開し、岩手を約3分間無得点に抑える一方、#5伊藤を中心に内外バランスよくシュートが決まり、#12五十嵐のファストブレイクで8点にまでリードを広げる。終盤、山形のインサイドの柱である#5伊藤が4ファウルでベンチに下がったのを機に、岩手は#5目時の展開から、#8長谷川のインサイド、#7坂野、#11田口の3ポイントで一気に点差を詰め、62-59と山形が3点リードして第3ピリオドが終了した。

4P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりから山形は、オールスイッチのディフェンスで岩手オフェンスを封じ、約5分間無得点に封じる。一方、山形オフェンスは岩手の強固なディフェンスを前にタフショットが続いたものの、#6小野、#7齋藤が続けてシュートを決め、リードをゲーム最大の9点にまで広げる。終盤、追いつがる岩手は、#11田口、#4菊地のファストブレイク、#8長谷川の連続ポイントで一時は2点差まで詰め寄るも、#12五十嵐の2本のシュートなどで追隨を許さず、最後はファウルで得たフリースローを#7齋藤、#13古瀬が落ち着いて沈め、77-72で勝利した。